

第370号 2015年1月16日
弘前大学総務部広報・国際課

学術講演会・研究発表会・公開講座

学術講演会開催のお知らせ

1. 日 時： 〈1〉 2015年1月20日（火）16:00～17:00
 〈2〉 2015年1月21日（水）13:00～14:00
2. 場 所： 〈1〉 弘前大学工学部1号館 第8番講義室
 〈2〉 弘前大学工学部1号館 第10番講義室
3. 対 象： 本学教職員、学生
 ※事前申込は不要です。
4. プログラム：

〈1〉

講演題目： 「Brain Computer Interfaces」

講演者： 米国サンディエゴ州立大学 Yusuf Ozturk教授

内 容：

Brain Computer Interfaces (BCI) emerged in recent years as a nonconventional direct channel of communication between the human brain and physical devices. The talk will present state of the art in wearable and implantable brain computer interfaces and introduce requirements specifications for brain/muscle computer interface design. We will present design spaces for Braincomputer interfaces and discuss design and implementation of an open architecture component based brain/muscle computer interface.

〈2〉

講演題目： 「Information and Network Security」

講演者： 米国サンディエゴ州立大学 Yusuf Ozturk教授

内 容：

The ability of objects and devices to transfer data is changing the way we use technology and helping people live more efficiently. This talk will present challenges of cybersecurity at the age of all things connected. Common threats to Internet of Things will be discussed and countermeasures will be presented.

5. 講演者のプロフィール：

Yusuf Ozturk 先生はサンディエゴ州立大学電気情報工学科の教授であり、組み込みコン

コンピュータ及び通信に関する研究グループの責任者です。

先生はエネルギー需要応答ソリューション、無線センサネットワーク、最適化、ブレインコンピュータインタフェースについて研究されています。先生は電力需要応答、コンピュータネットワーク、エネルギー資源の認知管理、先端コンテナ・セキュリティ機器の分野で8件の米国特許をお持ちです。また、エネルギー管理、需要応答、コンピュータネットワーク、ニューラルネットワーク、パターン認識の分野で100以上の論文を発表されています。

問い合わせ先： 弘前大学 大学院理工学研究科 長瀬 智行
TEL：0172-39-3632
E-mail：nagase@eit.hirosaki-u.ac.jp

**原子力災害事故後の中長期的にわたる放射線ヘルスプロモーションの確立に向けて
平成26年度「放射線の健康影響に係る研究調査事業」
～なみえまちからはじめよう。～ 研究成果発表会 開催のお知らせ**

弘前大学では、平成26年7月に採択となった平成26年度原子力災害影響調査等事業（放射線の健康影響に係る研究調査事業）の「原子力災害事故後の中長期的にわたる放射線ヘルスプロモーションの確立に向けて～なみえまちからはじめよう。～」における研究成果を公表し、今後の研究活動の推進を目的として研究成果発表会を開催いたします。皆様のご参加をお待ちしております。

1. 日時：2015年1月30日（金）17：40～18：40
※質疑応答を含む
2. 場所：弘前大学大学院保健学研究科S棟 1階 大会議室
（弘前市本町66-1）
3. 対象：本学学生、教職員
※事前申込は不要です。
4. プログラム：

1. 中長期的にわたる放射線ヘルスプロモーション開発

- 1) 子供への放射線健康管理
- 2) 妊婦・母親への放射線健康管理（放射線防護&抑うつ予防の介入）
- 3) 高齢者への放射線健康管理
- 4) 浪江町コミュニティの強化・ふるさと再発見のための介入

2. 放射線リスクコミュニケーションのコア・アプローチ

- 1) WBC検査で検出された人への内部被ばくの対策
- 2) 放射線リスクコミュニケーション資料のための基礎調査

3. 質疑応答

5. 申込方法：直接会場にお越しください。（事前申込不要）

問い合わせ先： 弘前大学保健学研究科総務グループ 阿保
（弘前市本町66-1）
TEL：0172-39-5905
FAX：0172-39-5912



理工学研究科博士後期課程安全システム工学専攻博士論文公聴会 開催のお知らせ

理工学研究科博士後期課程安全システム工学専攻の博士論文公聴会を下記の要項で開催いたします。皆様のご出席をお待ちしています。

1. 日 時： 2015年2月9日（火） 15:00～17:00
2. 場 所： 弘前大学理工学研究科1号館 4階 第7講義室
3. 対 象： 本学学生、教職員、一般の方等どなたでも
※事前申込は不要です。
4. 学位申請者： Malinee Kaewpanha
5. 論文題目： Catalytic steam reforming of biomass tar at low-temperature
(バイオマスタールの低温触媒水蒸気改質に関する研究)

問い合わせ先： 弘前大学北日本新エネルギー研究所 阿布 里提
TEL：017-735-3362
E-mail：abuliti@cc.hirosaki-u.ac.jp

弘前大学人文学部 最終講義のお知らせ

弘前大学人文学部の植木久行教授は平成26年度末をもって退職されます。つきましては、下記のとおり最終講義を開催いたしますので、ご案内申し上げます。みなさまのご来場をお待ちしております。

1. 日 時： 2015年2月14日（土） 15:00～17:00
2. 場 所： 弘前大学人文学部棟 4階 多目的スペース
3. 対 象： 本学学生、教職員等どなたでも
※聴講自由、事前申込不要です。
4. 演 題： 「唐詩研究への道」

※また、当日18:00から、翠明荘にて「植木久行先生 ご退休祝賀会」を行いますので、ご参加を希望される方は、2月1日（日）までに下記の申込み・問い合わせ先へご連絡くださいますよう、お願いいたします。

（会 費： 一般12,000円、学生6,000円）

申込み・問い合わせ先： 弘前大学人文学部 荷見守義
TEL：0172-39-3237
E-mail：hasumim@cc.hirosaki-u.ac.jp



青森県民俗の会×弘前大学地域未来創生センター公開シンポジウム 「津軽の年占行事『七日堂祭』を考える」開催のお知らせ（再掲）

弘前市岩木山神社、鬼神社、平川市猿賀神社の正月行事「七日堂祭」は、平成21年に記録作成

等の措置を講ずべき無形の民俗文化財として国の選択を受けました。この三社の七日堂祭については、『青森県史』民俗部会、青森県民俗文化財等保存活用委員会が、鬼神社の七日堂祭については、弘前大学人文学部文化財論講座が調査を行い、それぞれ成果を刊行しています。そこで青森県民俗の会と弘前大学地域未来創生センターでは、公開シンポジウムを開催し、「七日堂祭」に関わる映像資料を公開し、その文化史的意義について考える機会といたします。この行事の特色や無形の民俗文化財としての価値を県民に広く知ってもらう内容となっております。皆様のご参加をお待ちしております。

1. 日 時： 2015年1月25日（日） 13:00～15:00

2. 場 所： 弘前大学人文学部 4階 多目的ホール

3. 対 象： 市民・学生100名
※事前申込は不要です。

4. プログラム：

司会 山田 厳子
(弘前大学人文学部教授・青森県民俗の会)

開会のあいさつ 青森県民俗の会代表 古川 実
(青森県立郷土館民俗担当)

趣旨説明・シンポジスト紹介 山田 厳子

基調報告

「七日堂祭を記録する」

古川 実

「七日堂祭の基礎的考察：寺院行事から神社行事へ」
(青森県史編さん調査研究員・青森県民俗の会)

石戸谷 勉

「東アジアからの仏教の受容：七日堂祭の地域性を考える一視点」
(国立歴史民俗博物館・総合研究大学院大学教授)

松尾 恒一

コメント

中世文学研究の立場から 渡辺 麻里子
(弘前大学人文学部教授)

信仰史研究の立場から 小池 淳一
(国立歴史民俗博物館・総合研究大学院大学教授・
青森県史編さん企画編集委員・青森県民俗の会)

討議

閉会のあいさつ 人文学部長 今井 正浩

5. 協 賛： 青森県教育委員会、弘前市教育委員会、平川市教育委員会

6. 協 力： 岩木山神社、猿賀神社・鬼神社氏子総代



問い合わせ先： 弘前大学人文学部文化財論講座・コミュニケーション講座
弘前大学地域未来創生センター（担当教員 山田）
（弘前市文京町1）
TEL：0172-39-3198（平日10：15～15：00）
E-mail：irrc@cc.hirosaki-u.ac.jp

**弘前大学食育シンポジウム－見直そう！青森の食生活と農産物－
開催のお知らせ（再掲）**

弘前大学では、青森県の食生活を改めて見つめ直すと共に、大学や地域における今後の食育活動のあり方を議論するため、公開シンポジウムを開催します。多数のご来場をお待ちしています。
《どなたでも参加できます。参加費無料、事前予約不要。食育教材の展示も行います。》

1. 日時：2015年1月25日（日）13：00～15：30

2. 場所：弘前大学創立50周年記念会館 みちのくホール
（弘前市文京町1）

3. 対象：どなたでも参加可能
※事前申込は不要です。

4. プログラム：

【講演】

- ・講演者：愛媛大学教育・学生支援機構講師 垣原 登志子氏
講演タイトル：『愛媛大学「食」教育の取組
－つくる、伝える、知る－』
- ・講演者：青森県立保健大学健康科学部教授 吉池 信男氏
講演タイトル：『考えてみよう！「食育の環」』

【パネルディスカッション】

テーマ：これからの食育活動の役割

パネリスト	愛媛大学教育・学生支援機構講師	垣原 登志子 氏
	青森県立保健大学健康科学部教授	吉池 信男 氏
	青森中央短期大学食物栄養学科助教	森山 洋美 氏
	弘前大学農学生命科学部准教授	石塚 哉史 氏
	弘前大学農学生命科学部准教授	伊藤 大雄 氏

問い合わせ先： 弘前大学農学生命科学部附属
生物共生教育研究センター藤崎農場 伊藤 大雄
TEL：0172-75-3026
E-mail：daiyu@cc.hirosaki-u.ac.jp

「弘前大学 COIイノベーションサミット」開催のお知らせ（再掲）

弘前大学では、平成25年11月に採択となった革新的イノベーション創出プログラム（COI STREAM）「脳科学研究とビッグデータ解析の融合による画期的な疾患予兆発見の仕組み構築と予防法の開発」拠点の研究成果の発表及び加速化することを目的として、「弘前大学 COIイノベーション



サミット」開催をします。

本サミットは、県民・国民の健康寿命延伸とQOL（生活の質）・GNH（幸福度）向上に向けて、新たな産業創出（拠点研究の成果物の社会実装等）のあり方について徹底討論するため、産学官の関係者・トップが一同に会するサミットです。

皆様のご参加をお待ちしております。

1. 日 時： 2015年1月30日（金）13:00～17:00
（交流会を17:00～19:00に予定）

2. 場 所： ホテルナクアシティ弘前 3階 プレミアホール
（弘前市大町1-1-2）
※URL：<http://www.naquacity-hirosaki.com/>

3. 対 象： 一般市民、学生、企業関係者、
大学関係者・医療関係者・研究機関等 300名（先着）

4. 参加料： 無 料（交流会は参加費3,000円程度を予定）

5. 主なプログラム内容：

○基調報告 弘前大学医学研究科長（RL）・中路 重之
「弘前COIの戦略」

○基調講演 COI STREAM ガバニング委員会委員長
（前東京大学総長）・小宮山 宏 氏

○基調講演2 COI STREAM ビジョン1ビジョナリーリーダー
（協和発酵キリン前社長）・松田 譲 氏

○特別講演1 GEヘルスケア・ジャパン（株）社長兼CEO・川上 潤 氏
「GE のイノベーション戦略」

○特別講演2 京都府立医科大学COI-T（PL）・奥村 太作 氏
「京都府立医科大学COI-T 戦略」

○特別講演3 九州大学大学院医学研究院教授・清原 裕 氏
「久山研究の歩み（仮）」

○パネルDC 「健康寿命延伸に向けた革新的『健やか力』
創造拠点をめざして（仮）」

6. 申 込： 申込等の詳細については、弘前大学COI研究推進機構ホームページにて御確認をお願い申し上げます。

URL：http://coi.hirosaki-u.ac.jp/web/news_detail.html?no=142

問い合わせ先：弘前大学 COI 研究推進機構 戦略支援室

TEL：0172-39-5538

E-mail：coi_info@cc.hirosaki-u.ac.jp



**弘前大学地域未来創生センター・弘前市立中央公民館
弘前大学との地域づくり連携事業「地域未来創生塾@中央公民館」開催のお知らせ（再掲）**

「人口減少を克服する持続可能な地域づくり」をテーマに全10回の講座を開催いたします。具体的には、人口減少にともなう様々な地域課題の対策や地域文化資源の有効利用策などを模索するために、地域のみならず、弘前大学人文学部の教員及び学生が、ワークショップ形式で学びを深めます。関心あるテーマのみのご参加も大歓迎です。

1. 日 程： 2014年9月10日（水）～2015年1月28日（水）の期間の
第2および第4水曜日（全10回）
2. 時 間： 18:30～20:00
3. 場 所： 弘前文化センター 第3会議室
（弘前市下白銀町19-4）
4. 対 象： 弘前市および近隣にお住まいの高校生・一般の方
5. 参加料： 基本的には無料
6. 申込み： 不要・当日の参加が可能です。
7. 主 催： 弘前大学地域未来創生センター
共 催： 弘前市教育委員会（中央公民館）
8. その他： 継続してご参加の方には認定証の授与をいたします。
9. 年間計画：



	日程	タイトル	講師・内容
第10回	2015年1月28日（水）	「地域文化を音楽や 芸能から考える」	講師：国際教育センター准教授 諏訪淳一郎 （専門 文化人類学） 音楽や芸能からみると、地域同士は 連続し、互いに影響し合っています。 そこで世界、ユーラシア、東ア ジア、日本、東北、津軽という同心 円を設定し、世界各地の資料を訪ね つつ地域文化の特性について考えて いきます。

問い合わせ先： 弘前大学地域未来創生センター
TEL：0172-39-3198
（平日9:00～15:00）
E-mail：irrc@cc.hirosaki-u.ac.jp
URL：http://human.cc.hirosaki-u.ac.jp/irrc/

学内掲示板

学長オフィスアワー日程変更のお知らせ

学長と本学学生・教職員が直接対話する機会を設けるため、学長オフィスアワーを毎月第1金曜日及び第3木曜日に実施しておりますが、下記のとおり日程変更等がございますのでお知らせいたします。

日程変更等
1月16日(金) 中止
2月 6日(金) → 2月 5日(木)
2月19日(木) → 2月20日(金)

問い合わせ先：弘前大学総務部総務課（秘書室） 内線3004

URL：<http://www.hirosaki-u.ac.jp/president/officehour.html>

国立大学協会情報誌「国立大学」について

本学が会員となっている「一般社団法人 国立大学協会」では、各国立大学の現状や優れた取り組みなどを分かりやすくまとめた国立大学協会情報誌「国立大学」を作成しています。

下記URLより最新号を含め、今まで発行されたバックナンバーをご覧いただけます。

<http://www.janu.jp/report/infomation.html>

第31号・第28号・第25号・第23号・第22号・第18号において、本学記事が掲載されていますので、ご覧ください。

編集担当から）講演会、研究発表会、部局行事等の掲載原稿を発行予定日（毎月1日と16日の2回）の7日程度前までに、下記のところまでご提供ください。お待ちしております。

◎担当：総務部広報・国際課広報・国際グループ

E-mail: jm3012@cc.hirosaki-u.ac.jp FAX:39-3498、内線：3029